



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 横浜冷凍株式会社
コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 弘幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長 (氏名) 吉田 豊

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 2020年5月20日

配当支払開始予定日

2020年6月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	58,375	△19.0	1,914	△27.2	2,189	△23.8	1,282	△28.7
2019年9月期第2四半期	72,091	△12.9	2,629	1.4	2,872	7.3	1,798	9.4

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 793百万円 (1,547.7%) 2019年9月期第2四半期 48百万円 (△98.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2020年9月期第2四半期	21.86	—
2019年9月期第2四半期	30.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年9月期第2四半期	181,215	80,837	43.3	1,333.97
2019年9月期	179,247	80,580	43.7	1,336.12

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 78,398百万円 2019年9月期 78,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年9月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2020年9月期	—	11.50	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりの中、現時点で合理的な業績予想の算出が困難であることから未定としております。なお、業績予想の開示につきましては可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 — 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) (株)アライアンスシーフーズ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	59,266,684 株	2019年9月期	59,266,684 株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	496,022 株	2019年9月期	656,151 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	58,679,154 株	2019年9月期2Q	58,610,786 株

当第2四半期において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式278,157株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競争、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛やインバウンド需要の減少などにより大幅に悪化しました。一方、海外においても同感染症の終息の見通しが立っておらず、連鎖的に経済の減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

当社が関わる食品販売業界においては、10月の消費税増税に伴う消費マインドの低迷や人手不足に伴う人件費・物流費の高騰、新型コロナウイルス感染拡大による荷動きの低迷等、引き続き厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、最終年度となりました第六次中期経営計画「Growing Value 2020」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「マーケットインに応える革新と進化」を目指し、食品販売事業では「食料資源の開発と食プロデュースによる安定供給構造の構築」を目指して、事業運営方針の各施策に取り組んでいます。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高58,375百万円(前期比19.0%減)、営業利益1,914百万円(前期比27.2%減)、経常利益2,189百万円(前期比23.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,282百万円(前期比28.7%減)となりました。

なお、当社の調達力・開発力・販売力をさらに強固なものとし、迅速な戦略・意思決定を図るため、2020年1月1日付で連結子会社である㈱アライアンスシーフーズと㈱クロバートレーディングの吸収合併を実施しました。セグメントごとの業績は次のとおりです。

(冷蔵倉庫事業)

当第2四半期連結累計期間は増収増益となりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の荷動きの停滞から貨物の入出庫が減少し、荷役料が減少しました。しかし、前期から続く高い在庫水準は継続しており、保管料収入が増加し、増益に寄与しました。タイの連結子会社THAI YOKOREI CO., LTD.は、畜産品は増加しましたが、果物の不作に伴い在庫水準が落ち着いたため、減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高14,249百万円(前期比1.3%増)、営業利益3,536百万円(前期比1.8%増)となりました。

(食品販売事業)

当第2四半期連結累計期間は減収減益となりました。

水産品は、減収減益となりました。在庫消化の進んだホッケ、イカは増益となりましたが、鮭鱒の国内在庫増加による相場下落、サバの国内主要産地での不漁と缶詰ブームの落ち着きによる取扱量の減少により、減益となりました。また、シラスウナギの豊漁によるウナギの相場下落、在庫消化が進まなかったカニの売却損が発生し、利益を押し下げました。

畜産品は、減収ながら利益は横ばいとなりました。チキンは相場下落により、ビーフは外食向け需要の大幅な減少により、減益となりました。ポークは中国で発生した家畜伝染病の影響により相場が上昇傾向、また、在庫の適正化にも努め、増益となりました。

農産品は、イモ類の取扱量が減り減収減益となりました。

ノルウェー養殖事業は、水揚げは順調に推移しましたが、生産コスト増加に伴い利益率が低下したため、増収減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、合併前の子会社関係の在庫整理による損失もあり売上高44,097百万円(前期比24.0%減)、営業損益277百万円の損失計上(前期は414百万円の利益計上)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,968百万円増加し、181,215百万円となりました。これは主に、有形固定資産が5,628百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が2,948百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ1,710百万円増加し、100,377百万円となりました。これは主に、借入金が増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ257百万円増加し、80,837百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の残高は、前連結会計年度末に比べ96百万円増加の3,473百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,263百万円の資金の増加(前年同四半期は11,946百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,189百万円、減価償却費2,873百万円、売上債権の減少額2,917百万円等による資金の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8,333百万円の資金の減少(前年同四半期は15,483百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出5,982百万円と、貸付による支出3,201百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、184百万円の資金の増加(前年同四半期は4,331百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額1,018百万円による資金の増加と、配当金の支払額676百万円等による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりの中、沈静時期や各国政府の動向など、現時点では未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であります。

そのため、2020年9月期通期の連結業績予想につきましては、2019年11月14日の「2019年9月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想を一旦「未定」とさせていただきます、算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,387	3,483
受取手形及び売掛金	17,284	14,336
商品	17,888	16,771
前渡金	974	229
短期貸付金	17,734	20,158
その他	945	902
貸倒引当金	△19	△45
流動資産合計	58,195	55,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,738	49,930
機械装置及び運搬具(純額)	7,003	7,929
土地	29,017	29,778
リース資産(純額)	1,419	1,490
建設仮勘定	3,418	3,996
その他(純額)	1,117	1,219
有形固定資産合計	88,715	94,344
無形固定資産		
のれん	6,060	5,703
海外養殖事業ライセンス	6,816	6,692
その他	2,317	2,255
無形固定資産合計	15,194	14,651
投資その他の資産		
投資有価証券	12,790	12,200
長期貸付金	3,951	3,845
繰延税金資産	24	1
その他	778	792
貸倒引当金	△403	△456
投資その他の資産合計	17,141	16,382
固定資産合計	121,052	125,378
資産合計	179,247	181,215

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,011	4,800
短期借入金	16,238	19,638
1年内返済予定の長期借入金	4,640	5,798
リース債務	226	280
未払法人税等	1,373	713
賞与引当金	757	539
役員賞与引当金	32	15
その他	6,109	7,586
流動負債合計	34,389	39,374
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	39,071	35,604
リース債務	889	884
繰延税金負債	2,592	2,834
役員報酬BIP信託引当金	221	143
退職給付に係る負債	829	737
資産除去債務	91	91
その他	580	707
固定負債合計	64,277	61,003
負債合計	98,666	100,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,370	14,387
利益剰余金	45,956	46,562
自己株式	△507	△382
株主資本合計	74,122	74,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,697	3,260
繰延ヘッジ損益	75	△16
為替換算調整勘定	489	273
退職給付に係る調整累計額	△74	10
その他の包括利益累計額合計	4,187	3,528
非支配株主持分	2,269	2,439
純資産合計	80,580	80,837
負債純資産合計	179,247	181,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	72,091	58,375
売上原価	64,275	51,157
売上総利益	7,816	7,218
販売費及び一般管理費	5,186	5,304
営業利益	2,629	1,914
営業外収益		
受取利息	330	530
受取配当金	56	56
保険配当金	39	31
仕入割引	195	44
その他	249	353
営業外収益合計	871	1,016
営業外費用		
支払利息	411	356
デリバティブ評価損	—	209
支払手数料	2	2
その他	214	172
営業外費用合計	628	741
経常利益	2,872	2,189
税金等調整前四半期純利益	2,872	2,189
法人税、住民税及び事業税	520	270
法人税等調整額	275	503
法人税等合計	796	774
四半期純利益	2,075	1,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	276	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,798	1,282

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	2,075	1,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,041	△436
繰延ヘッジ損益	118	△92
為替換算調整勘定	△1,147	△177
退職給付に係る調整額	42	84
その他の包括利益合計	△2,027	△621
四半期包括利益	48	793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△245	623
非支配株主に係る四半期包括利益	293	170

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,872	2,189
減価償却費	2,773	2,873
のれん償却額	275	282
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△206	△217
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	80
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30	△9
役員報酬B I P 信託引当金の増減額 (△は減少)	27	—
受取利息及び受取配当金	△386	△586
支払利息	411	356
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	209
売上債権の増減額 (△は増加)	773	2,917
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△885	1,050
前渡金の増減額 (△は増加)	5,048	734
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,130	△198
未払費用の増減額 (△は減少)	123	△900
その他	311	69
小計	12,279	8,833
利息及び配当金の受取額	373	549
利息の支払額	△392	△371
法人税等の支払額	△314	△747
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,946	8,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,284	△5,982
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△673	△53
投資有価証券の取得による支出	△3	△102
投資有価証券の売却による収入	—	153
貸付けによる支出	△5,475	△3,201
貸付金の回収による収入	969	879
その他	△18	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,483	△8,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,421	3,339
長期借入れによる収入	2,022	—
長期借入金の返済による支出	△3,222	△2,321
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△766	△676
その他	△123	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,331	184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	756	96
現金及び現金同等物の期首残高	2,907	3,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,664	3,473

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,070	57,993	28	72,091	—	72,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	924	—	21	945	△945	—
計	14,994	57,993	49	73,037	△945	72,091
セグメント利益	3,475	414	29	3,920	△1,290	2,629

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,290百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,249	44,097	28	58,375	—	58,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	697	—	23	720	△720	—
計	14,947	44,097	52	59,096	△720	58,375
セグメント利益	3,536	△277	30	3,289	△1,375	1,914

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,375百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。